



# Private Cloud

Cloud Computing Service

---

# お客様だけの専用クラウドがご利用頂けるサービス

S.T.E.P プライベートクラウドは、お客様が専有してお使い頂ける物理サーバ上に、複数の仮想サーバを構築・運用して頂くことが可能なクラウドコンピューティングサービスです。以下の様な課題をお持ちのお客様にご活用頂けます。

- 複数台のサーバをクラウド化したい。
- サーバを集約して運用コストを低減させたい。

## 専用物理サーバならではの自由度

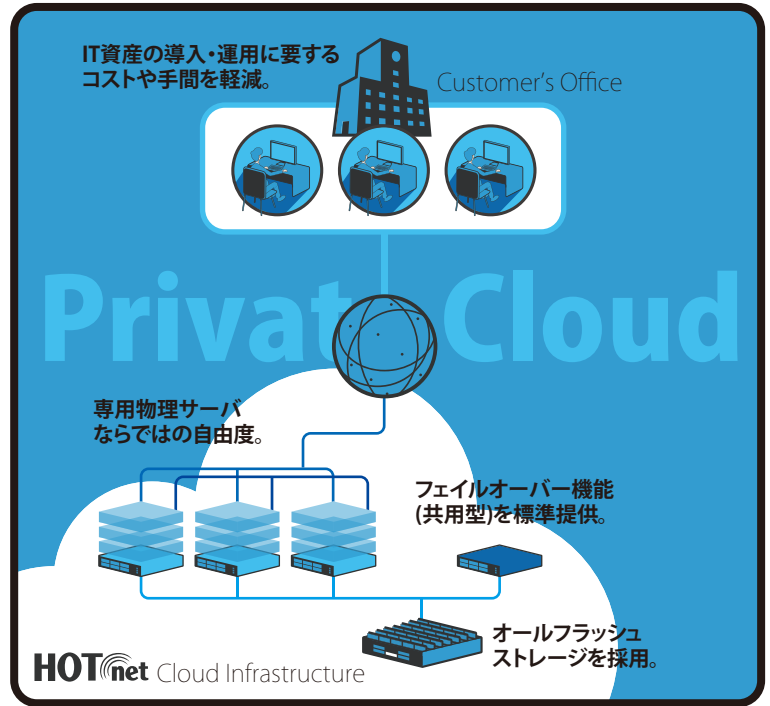
低スペックの仮想サーバを多数収容、高スペックの仮想サーバの構築など、サーバリソースを自由に割り当てたサーバ設計が可能です。また、パブリッククラウドでは利用できなかったソフトウェアライセンスが利用可能になるケースや、仮想サーバ～仮想サーバ間、お客様拠点～仮想サーバ間を接続するネットワーク設計も自由自在です。

## オールフラッシュストレージを採用

ハードディスクと比べて、非常に高速なストレージ環境を実現。

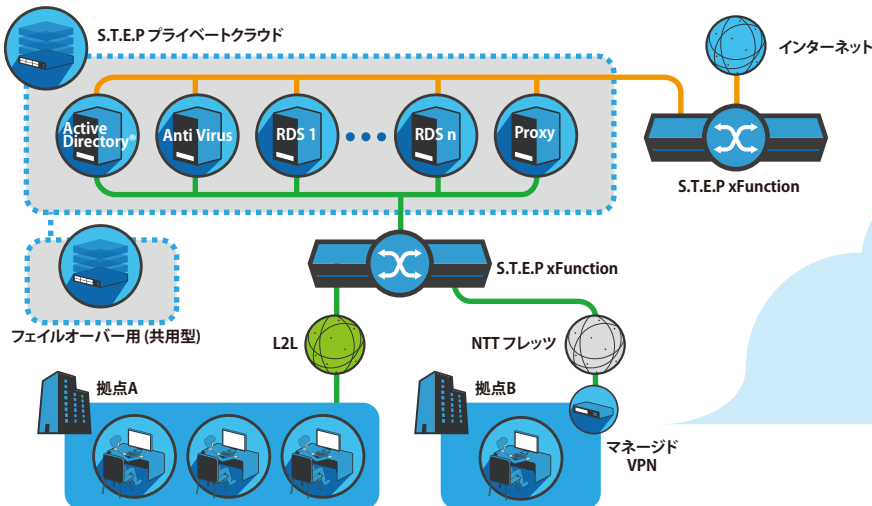
## フェイルオーバー機能(共用型)を標準提供

ご利用の物理サーバが、万が一故障してしまった場合、待機用の物理サーバ(共用型)により仮想サーバが自動的に稼働するフェイルオーバー機能を標準で提供致します。



## プライベートクラウド ケーススタディ

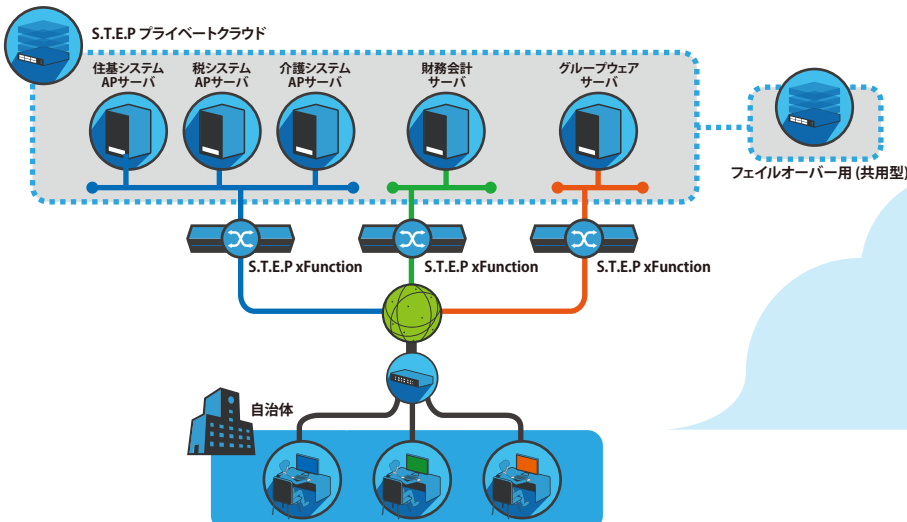
### Case.1 仮想デスクトップ基盤としての提供



**仮**想デスクトップ基盤に、プライベートクラウドサービスを利用することにより、各種サーバのリソースやライセンス、そしてネットワークを含めた全体設計／構築を柔軟に実施することが可能となります。

また、個人情報漏洩等の対策におけるインターネット分離のニーズにお応え致します。

### Case.2 自治体向け基幹システム用サーバ環境の提供



**自**治体向けのネットワークサービスと組み合わせて利用することで、自治体のセキュリティ対策(総務省強靱性向上対策事業)に合わせたシステムの提供基盤の構築が可能となります。

# Service Spec

## 基本仕様

物理サーバ	CPU	14コアCPU × 2ソケット ※1
	メモリ	128GB ※1 ※2
	ネットワーク	最大符号伝送速度 1Gbps (S.T.E.P xFunction バーチャルスイッチとの接続) ※3
物理サーバ台数	1台	
ストレージ	ストレージ容量 1TB (フラッシュストレージ) ※1 / お客様指定の周期のデータバックアップを取得 ※4	
仮想化基盤	VMware vSphere® 6 および 6.5 ※5	
Dashboard	仮想サーバにおけるリソースの状態表示と監視機能 ※6	
ソフトウェアKVM	仮想サーバに対するコンソール機能	
フェイルオーバー (共用型)	物理サーバの故障等の際に、待機用の物理サーバにて仮想サーバを稼働させる機能。待機用の物理サーバは複数のお客様共用での利用。	
仮想サーバ作成・変更・削除	仮想サーバの作成・変更・削除対応を実施。 ※7	

- ※1 仮想化基盤で使用するソフトウェア (ハイパーバイザー) が利用するリソースも含まれております。
- ※2 仮想サーバへのメモリ容量の割り当ての合計容量は、上記のメモリ容量までとなります。上記のメモリ容量を超える割り当てを行いたい場合は、別途お問い合わせください。
- ※3 ペストエフォートとし、符号伝送速度の保証は致しません。
- ※4 データバックアップは1世代のみとなります。また、仮想サーバ単位、ファイル単位では行いません。
- ※5 仮想サーバで利用可能なOSのバージョンおよびエディション等については、仮想化基盤で動作保証されているものに限りします。
- ※6 Dashboardを利用する場合は、仮想サーバに割り当てたIPアドレス(ネットワーク)を当社が指定するものとする必要がございます。
- ※7 仮想サーバのOSがMicrosoft® Windows®, Red Hat® Enterprise Linux®, CentOS® の場合は当社指定の形態にてご提供することとし、左記以外のOSの場合は、仮想サーバの作成等に必要データ (インストールモジュール等) をお客様にてご用意頂く必要がございます。

## オプション

物理サーバ追加	物理サーバを1台単位で追加
ストレージ容量追加	10GB単位で追加
フェイルオーバー (専用型)	待機用の物理サーバは、お客様専用としてご利用可能となるフェイルオーバー機能
VMware vCenter®	VMware vCenter®の操作権限をお客様に付与します。お客様は仮想サーバへの下記の操作が可能。 ※1 ※2 ※3 ※4 ※5 仮想サーバ状態確認 / 仮想サーバ作成・変更・削除 / 仮想サーバ操作 (パワーオン、シャットダウン、再起動等) / スケジュール設定 / コンソール機能 / クローン作成 / テンプレート作成 / スナップショット作成 / VMware vSphere® vMotion® / データストア内のファイル操作
仮想サーバリストア	仮想サーバの作成・変更・削除対応を実施。
ロードバランサ (NetwiserVE)	セイコーソリューションズ株式会社の仮想アプライアンス ロードバランサ「Netwiser Virtual Edition」を提供

- ※1 本オプション利用時は、ソフトウェアKVM、フェイルオーバー (共用型) の提供、およびMicrosoft® Windows® における当社からのライセンス提供は行っておりません。
- ※2 VMware vCenter®は、S.T.E.P クロスファンクションサービス バーチャルスイッチサービスで接続されたネットワーク内に配備いたします。VMware vCenter®に付与するアドレス、および仮想化基盤管理用に付与するアドレスを割り当てて頂く必要がございます。
- ※3 本付加機能で操作可能な台数は、物理サーバ10台、もしくは仮想サーバ100台までとなります。
- ※4 本オプションにてDashboardをご利用の場合、Dashboardをご利用頂くための仮想サーバへの設定は、お客様に実施して頂く必要がございます。
- ※5 VMware vCenter®への接続は、VMware vSphere® Web Clientにより行うものとし、その際、当社が指定するFQDNを使用する必要がございます。このFQDNによる名前解決は、お客様にて実施して頂く必要がございます。

## Service Price (下記の料金額はすべて税別です)

### 基本メニュー

初期費用	100,000 円	月額費用	220,000 円
設定変更費用	10,000 円		

オプション		作業費用	月額費用
物理サーバ追加	物理サーバを1台単位で追加	30,000 円 / 1作業毎 ※1 ※2	170,000 円
ストレージ容量追加	10GB単位で追加	10,000 円 / 1作業毎 ※1	500 円
フェイルオーバー (専用型)		30,000 円 ※1 ※2	100,000 円
VMware vCenter®		30,000 円 ※1 ※2	20,000 円
仮想サーバリストア	1仮想サーバ毎	10,000 円	—
ロードバランサ (NetwiserVE)	1台毎	—	30,000 円

- ※1 本サービスの利用開始と同時にオプションをご利用いただく場合、オプションの作業費用は適用しません。
- ※2 物理サーバ追加オプション / フェイルオーバー (専用型) オプション / VMware vCenter® オプションは、複数同時にオプションをご利用いただく場合、いずれか1つのオプションの作業費用 (30,000 円) のみを適用し、他のオプションの作業費用は適用しません。

VMware vSphere®, VMware vCenter®, VMware vSphere® Web Client, およびVMware vSphere® vMotion®は、VMware社の商標または登録商標です。Microsoft®, Windows®およびActive Directory®は、Microsoft社の商標または登録商標です。Red Hat®およびRed Hat® Enterprise Linux®はRed Hat, Inc.の商標です。CentOS®の名称はCentOS Ltdの商標または登録商標です。Netwiserはセイコーソリューションズ株式会社の登録商標です。

## 北海道総合通信網株式会社

〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東2丁目5番3 塚本ビル北1館

TEL 011-590-5200 FAX 011-590-5339

**HOT**net

<https://www.hotnet.co.jp/>

PCS-20201001